

## 第7回東京都北区新庁舎建設基本計画専門家会議 概要

- 日時 令和3年2月10日(水) 18:00~20:00
- 場所 テレビ会議
- 次第
  - 1 開会
  - 2 議事 (1) 区民交流・協働推進機能について  
(2) 防災拠点機能について(前回の補足)
  - 3 その他
  - 4 閉会

### ●会議概要

#### 1 開会

#### 2 議事

##### (1) 区民交流・協働推進機能について

- 事務局から、新庁舎に求められる区民交流・協働推進機能が何か、検討作業の進捗について説明があった。
- 委員意見等
  - ・ 図書館もあれば、多目的ホールもあれば、結構大きなアトリウムをつくるアイデアもある。まだ時間があるので、何らかの方向性を絞り込むなりしているのではないかと。
  - ・ 新庁舎の各機能をどう組み合わせ、どこに配置するのかは、今の段階では詳細を決めないで、設計段階での詰めた検討や、設計者選定での提案などと受け入れられる余地を残しておく方が良い。
  - ・ 提案を受けられる余地を残すことも大事だが、ある程度要求水準の枠組みを決めておかないと、設計段階以降で事業者を選定するときに比較できない。新庁舎に入れるコンテンツを何にするか、設定しておいた方が良さそう。
  - ・ セキュリティによって、フロアや空間に設定する機能が変わるのでないか。どの事業段階でセキュリティを定めるか、議論が難しい。
  - ・ セキュリティの考え方は、ある程度コアの設計をしっかりとっておけば、色々なアイデアが可能になる。建物の与条件にしてしまうと、セキュリティの技術革新についていけないことになるかもしれない。
  - ・ にぎわいづくりについて施設の内容や配置のイメージが色々と検討されているが、防災のことを考えると、平面や断面については、相当程度、方向性を出しておいた方が良い気がする。
  - ・ 浸水する可能性が高いのに、コストがかかるアトリウムを1階に配置するのは難しいのではないかと

思う。逆に、多目的ホールを浸水しないフロアに配置すれば、防災に役立つ。防災拠点機能とも連携させながら、どの階に何を配置するのかを考えることがあっても良い。

- ・ 周辺との関係で、ある種のテーマ性みたいなものがはっきり出ている方が、北区の顔にしていくという意味で、アピール度があると思う。単なる協働推進施設だと、雑多に色々なものが入っているだけという感じがする。

## (2) 防災拠点機能について（前回の補足）

- 事務局から、第6回専門家会議を受けて、『災害に強い首都「東京」形成ビジョン』をはじめとした国や東京都の災害に対する取り組みや、自然災害に係る区の地形や防災関連施設等について説明があった。
- 委員意見等
  - ・ 江戸川区小岩駅の開発計画では、地元地権者等で協議会を立ち上げ、区と地元をあげて駅を再開発していこうという大きな流れの中で、駅に隣接する江戸川との関係についても検討が行われている。駅全体として、どう安全性を高めていくか、大きな動きをつくっていくことの重要性を改めて感じる。
  - ・ 北区の地形や防災関連施設等からすると、いわゆる江東5区といった、浸水深が深い江東区や葛飾区とは異なり、ある程度高台化をすれば、人が助かる可能性が大きく改善すると考えられる。
  - ・ 今、建設予定地でこれだけの事業をやる。防災上の対策を打つということを考えれば、この位置で、絶好のタイミングだと言える。
  - ・ 浸水する1階に様々な機能を配置するとしても、その上階フロアがアクティビティの中心になってくる。だから、そこをちゃんと充実させる。そして、ここを防災の拠点とする。そのところは、やはり譲れない。
  - ・ 浸水可能性があるフロアは、フットプリントをあまり大きくしないということになってくると思う。まず防災面から建ち方を考えた方が、話としては、クリアな気がする。
  - ・ 発災すると、おそらくは、新庁舎で何かやらなくてははいかない災害対応が生じる。そうすると、多目的ホールみたいなものは、悪くはない話。そうすると、区民交流・協働推進機能について相談すべき相手もある程度見えてくる。

## 3 その他

### (1) 次回会議日程について

- 次回会議日程 令和3年4月以降、新型コロナウイルス感染症の流行状況等を踏まえて調整

## 4 閉会